

(別紙様式)

目的と相手意識をもって話す活動とその評価
(NEW HORIZON English Course 3 Unit 2 Haiku in English)

①話・発

②クロムブック

③個・表

③評価

④ Google Jamboard

【ここがポイント！】

今回の活動のポイントは2つ

①【端末で動画を共有する】

カナダにいる元 ALT にも Google Classroom (英語) に参加してもらい、生徒のフォト俳句を共有する。それを見た元 ALT から動画でメッセージと質問をもらい、それにこたえる内容を加えた俳句説明文を動画撮影して提出し、指導者はそれを評価する。

②【ジャムボードの有効活用】

Google Jamboard でフォト俳句をつくる。ペアやグループで見合ってコメントを貼り付ける。提出したフォト俳句に元 ALT からもコメントや質問を貼り付けてもらって返却する。動画を撮る時は端末画面でフォト俳句を見ながら話をする。

【実践の目標】

フォト俳句を用いて自分が好きなことや取り組んできたことを具体的に説明することができる。

【実際の場面】

1. 俳句と英語俳句の違いを整理して、英語のフォト俳句をつくる。

自分が表現したい内容を表している写真を選んだりトピックとキーワードを決めたりしました。3行でリズム等の英語俳句の特徴を意識しながらつくりました。

2. フォト俳句で好きなことや取り組んできたことについて話す。

ジャムボードでつくったフォト俳句を友だちに見せながら現在完了形を使った文を入れて説明しました。ペアで質問をしたり感想を言ったりして内容や話し方等を改善していきました。

3. 元 ALT (アメド) に自分がつくったフォト俳句を紹介する。

カナダにいるアメドとフォト俳句を共有し、ひとりずつコメントや質問をもらいました。それをふまえてフォト俳句について説明する動画を撮りました。

4. ペアで動画を見合って改善する。

アメドに送る動画をペアや自分で見て、より伝わりやすくなるように改善していきました。何度も撮影し、最後に完成版を提出しました。

5. フォト俳句を味わう。

クラス全員がどんな俳句をつくっているのかを見て話をしました。自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にしました。

6. 評価を行う。

後日、フォルダに提出された動画を、指導者が評価しました。

三原市立久井中学校



【成果と課題】

【成果】

- 自分の動画を生徒が何度も見て振り返られることで、自己調整ができた。
- 端末に外国にいる元 ALT から動画が届いたり生徒全員の作品を共有できたりすることで、目的や相手を意識して内容を工夫しながら主体的に話すことができていた。
- 生徒が提出した動画を指導者用端末で見て「話すこと」として評価することができた。

【課題】

- 話す内容を改善するためのペア活動も英語で行うと言語活動が充実するので、単元を通して英語でのやりとりの時間を確保したり指導したりする必要がある。